

STATEMENTS 214 2018



行動するシンクタンク
一般財団法人 下関21世紀協会
Shimonoseki 21st Century Association

思索の人として行動し、行動の人として思索せよ
アンリ・ベルクソン (Henri Bergson) [1859 ~ 1941] フランスの哲学者

受け継がれるミッション

一般財団法人下関21世紀協会 会員 井上 直行



1985年

私は兄の影響で、海峡花火大会にボランティアスタッフとして参加したのがきっかけで、昨年『一般財団法人下関 21 世紀協会』に入会することとなりました。微力ながらメンバーの一員として先輩たちについて活動しています。

大先輩方が『草莽崛起』のような信念や志をもち、設立された『一般財団法人下関 21 世紀協会』。設立時の目標でもあった人工島建設が、『一般財団法人下関 21 世紀協会』の働きかけ等により完成したと知りました。

正直その偉大さにただただ驚きました。

ある日の会合で、初代理事長があいさつに「今の若いメンバーがここからどうするか楽しみだ」と話されました。先輩方が苦勞して成し遂げたものを引き継ぎ、そして活用していく、シンプルな言葉ですが、その言葉に秘められた深さと、見えないプレッシャーを感じました。

いつもの通り、現理事長からの急な問いかけに対応できるよう、人工島の活用を考えていたところ、海峡花火大会の開催日に、大型客船に向かって手を振るのを思い出しました。海峡花火大会が開催されるので、大型客船が航海ルートを合わせていることを思い出しました。人工島に立ち寄る大型客船こそ次なるステップだと思いました。

私が住んでいるところは、長門市と隣接している豊北町といった場所で、海沿いにある国道 191 号線を北上した全国的にも有名な角島大橋があるところです。

海を見ながら車で走る山陰線も素眺めが素晴らしいことから、角島に訪れる観光客は年々上昇しています。

そこで、この地域ならではの自然という宝と、人工的な武

器を噛合せたら素晴らしいものになると思います。

建設業ならではの発想で道路整備を行い、人工島から角島大橋まで常に海を眺めながら走行できるようにバイパスを建設します。

海水浴シーズンでの 10km 程度の渋滞緩和と、苦情が出ている歩行者の安全確保にも、効果を発揮しますし、道路の老朽化対策や高潮対策にも対応することが出来ます。

そして、2 階のあるバスやリムジンといった少し変わった気分で行けるものを、提供できると魅力的だと思います。

好き勝手な個人的思考ですが、ここにしか無いもの、ここでしか出来ないこと、人は面白さや楽しさに引寄せられます。

目的・目標を持ち、みなそれぞれの時機、瞬間で個々の選択により、思考を巡らすところが沢山有り、行動や発言そして生活習慣の移り変わりを感じとれると、面白い発想へと変わっていきます。

人はそれぞれいろいろな立場で、いろいろな思いを持ち、生きていると思いが、同じ事や物でも人が違えば、違う見方や意見が変わってくるところが人の面白さになっていると思います。

一人より二人、三人より四人、みんなで一緒になって責任のないひらめきや提案、できるかどうか判らないことを話すことが先輩からのミッション攻略のヒントになってくることもあると思います。

先輩から後輩へ受け継がれるミッション攻略が、下関市ためになり個人のスキルの向上に繋がるのではと考えます。

▼1988年『アーバン 2001 構想』

